

CADPAC CREATOR 2D

CADPAC-CREATOR 2D Ver.12.0 新機能リスト

■汎用機能

1. ビジュアルマウス
2. 前回コマンド ツールバー
3. コマンドジャンプ ツールバー
4. 枠選択 スタイル参照と直前スタイル
5. IMGPrinter 2
6. 外部入力
7. DWG/DXF 入出力
8. SXF 出力
9. 一括変換
- 10 文字
11. 切取複写
12. 補助線消去
13. 順位変更
14. 要素計測

■機械オプション

1. 基礎ボルト
2. ボルト、小ねじ
3. タップ注釈
4. タップ座標

■ JIS 機械パーツ

部品データベース

■フローティングライセンス

ライセンス持出し

Ver.12.0 新機能

CADPAC-CREATOR Ver.12.0 で追加・拡張・変更・削除された機能の概要をまとめます。
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.11.5 からの差分です)
[****/****] は、該当のオンラインヘルプです。

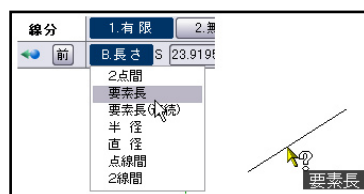
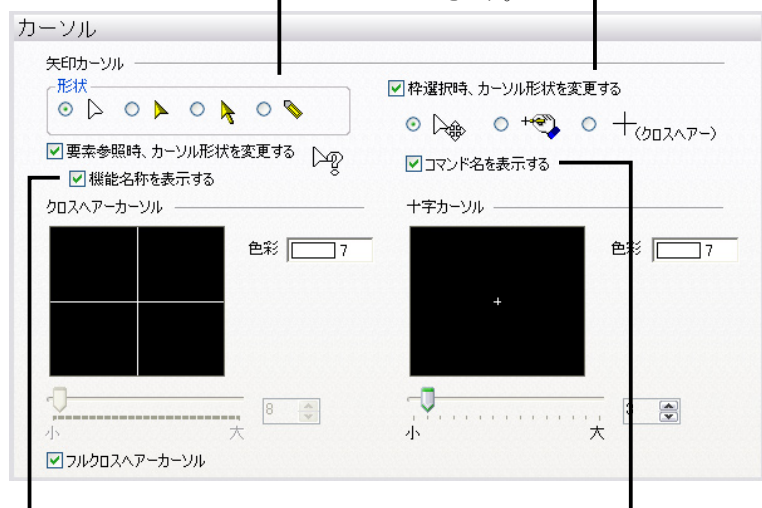
2次元汎用機能

1. ビジュアルマウス

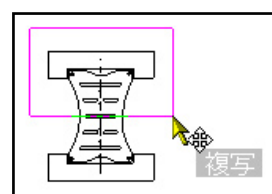
作図画面内のマウス形状を変更したり、要素参照モードの際、マウス横にモードを表示します。また枠選択の際にもモードを表示して分かりやすくしています。設定は、システム設定で行います。

[補助 / システム設定 / カーソル]

矢印カーソルの形状を変更できます。 枠選択時のカーソルの形状を変更できます。



機能モード名が表示されます。



実行されているコマンド名が表示されます。

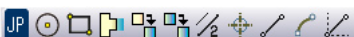
2. 前回コマンド ツールバー

前回コマンドのアイコンツールバーが追加されました。
ツールバーには、最大 10 個の前回コマンドが表示されます。
前回コマンドは、マウスアクションによる選択、— END キーからも選択が可能です。[基本操作 1/ 前回コマンド]



3. コマンドジャンプ ツールバー

コマンドジャンプのアイコンツールバーが追加されました。
従来は、CSB タイトル部分をクリックしてリストを表示していましたが、
ツールバー化で選択がしやすくなりました。
[基本操作 2/CSB の機能と操作]



4. 枠選択 スタイル参照と 直前スタイル

枠選択のスタイル指定で、作図されている要素から色彩や線種などを取得する [スタイル参照] 機能と、直前（前回起動時）に指定されたスタイルに置き換える [直前スタイル] ボタンが追加されました。
[編集 / 枠選択の概要]



【直前スタイル】

前回実行時に指定したスタイル設定に、現在のスタイル設定を置き換えます。枠選択系共通です。コマンド毎には記憶されていません。

全部 色彩 線種 線幅

参照したい要素スタイルを個別に指定できます。

参照後の処理 置換 追加

- ・置換＝現在の設定を破棄して、参照した要素スタイルに置き換えます。
- ・追加＝現在の設定に参照した要素スタイルを追加します

5. IMGPrinter 2

Vista, Windows7 の 64 ビット版に対応しました。
 [ファイル / IMGPrinter - PDF ・ TIFF ・ XCDF 出力]

6. 外部入力

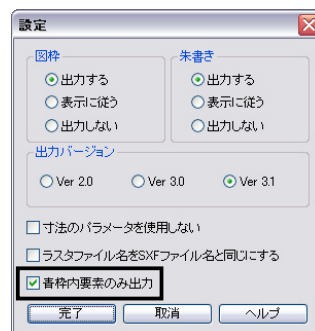
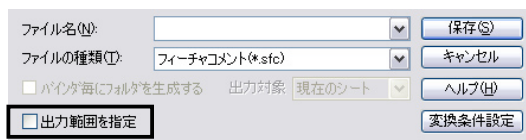
ファイル選択ダイアログボックスから複数のファイルを選択し、一括で入力処理できるようになりました。
 対象ファイルは、DWG ・ DXF、ME10、CADSUPER、IGES、JW_CAD、BMI ファイル形式です。
 [ファイル / 外部入力 / 上記該当ファイル入力]

7. DWG/DXF 入出力

AutoCAD2010 形式のファイル入出力に対応しました。
 また以下の寸法の互換性を向上しました。
 入出力：弧長寸法、稲妻半径
 出力：注釈、バルーン要素の引出線オブジェクト
 [ファイル / 外部入力 / DWG ・ DXF 入力]
 [ファイル / 外部出力 / DWG ・ DXF 出力]

8. SXF 出力

図面上の青枠の外に存在する要素を除外して出力できるようになりました。
 変換条件設定ダイアログの項目「青枠内要素のみ出力」にチェックを入れると機能が有効になります。
 また、出力範囲を枠選択で指定することも可能です。ファイル選択ダイアログボックス「出力範囲を指定」を有効にすると機能が有効になります。
 [ファイル / 外部出力 / SXF 出力]

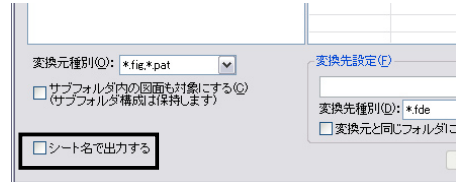


9. 一括変換

出力するファイルの名に、バインダーのシート名を出力することができるようになりました。

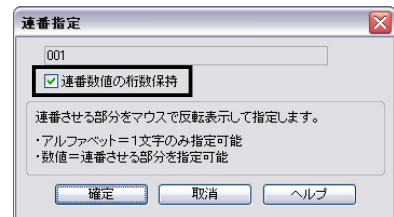
一括変換を起動すると開く一括変換ダイアログにある項目「シート名で出力する」にチェックを入れると機能が有効になります。

[ファイル / 一括変換]



10. 文字

「001」のように先頭にゼロを含む数値を [0. 連番] 機能で更新した場合、桁数を保持したまま「002、003、・・・」文字列を作図できるようになりました。機能を有効にするには、CSB から [0. 連番] を選択すると開く連番指定ダイアログボックスのチェック項目「連番数値の桁数保持」を有効にして [確定] ボタンをクリックします。



11. 切取複写

切取複写した直後に [BS] キーを押すと、複写した要素を削除し元の状態に戻ることができるようになりました。このとき、再度 [BS] キーを押すと選択CSBに戻ります。[編集 / 複写 / 切取複写]

12. 補助線消去

補助線以外の箇所をマウス右クリックすると、図面上全ての補助線を消去することができるようになりました。

[編集 / 消去 / 補助線消去]

13. 順位変更

選択対象をZレベルの数値で条件付けできるようになりました。

従来どおり対象要素を枠選択で指定すると、右のZレベル指定ダイアログボックスが開きますので選択状態にしたいZレベル値を選択します。

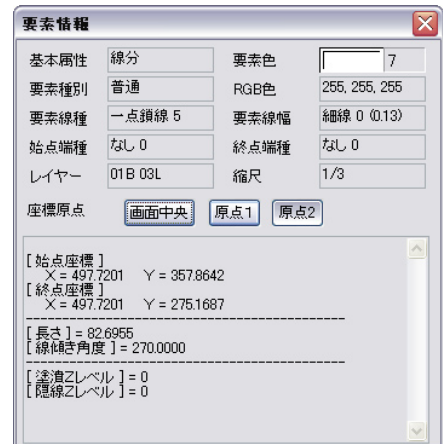
[構成 / 塗潰し図形 / 順位変更]



14. 要素計測

要素計測コマンドで、塗潰し要素と隠線要素のZレベルが確認できるようになりました。

[補助 / 計測 / 要素]

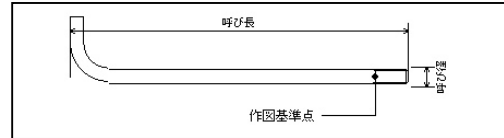


機械オプション

1. 基礎ボルト

最新JIS規格（2007年版）に対応した基礎ボルトの作図コマンドです。側面図または上面図の指定ができます。ダイアログの設定により、各種形状指定ができます。

[オプション / 機械 / 最新 JIS 対応 / 基礎ボルト]



2. ボルト、小ねじ

首下破線に対応しました。[設定]で破線の線幅と線色を変更できます。

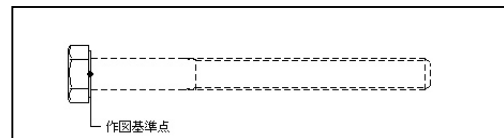
[オプション / 機械定型 1 / 六角ボルト]

[オプション / 機械定型 1 / CAP ボルト]

[オプション / 機械定型 2 / なべ小ねじ]

[オプション / 機械定型 2 / 丸小ねじ]

[オプション / 機械定型 2 / トラス小ねじ]

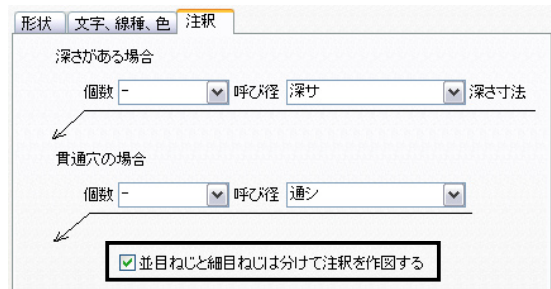


3. タップ注釈

並目ねじと細目ねじは分けて注釈を作図することができるようになりました。枠選択でねじを検出する際に、並目ねじと細目ねじを分けて認識し、[4. 枠選択]の対象にした種類のねじのみハイライト表示します。

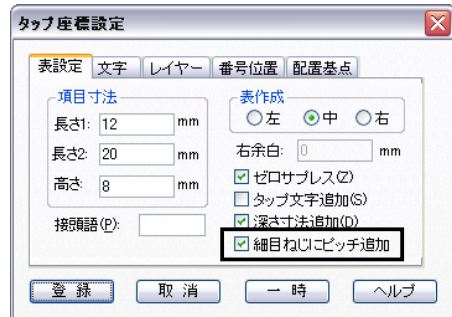
[A. 設定]の注釈タブにある「並目ねじと細目ねじは分けて注釈を作図する」にチェックを入れると機能が有効になります。

[オプション / 機械 / 機械定型 3 / タップ注釈]



4. タップ座標

作表時、細目ねじの呼び径ピッチを表記できるようになりました。[5. 設定]ダイアログボックスの「表設定」タブの項目「細目ねじにピッチ追加」にチェックを入れることで機能が有効になります。
[オプション / 機械 / 機械定型 3/ タップ座標]



JIS 機械パーツ

部品データベース

部品データベースが 2010 年 3 月更新の最新版となりました。
部品点数は、57 万点です。
保守契約 (CADPAC フォーラム) ユーザー様は、オンラインで常に最新データベースでのご使用が可能です。
[オプション / JIS 機械パーツ]

フローティングライセンス

ライセンス持出し

ネットワークライセンスの使用権が 5 本以上ある場合、ライセンスを個別に取り出し、ローカル PC で動作できるようになりました。
持ち出せる数は、ライセンス数の 1/2 以下となり、最大 10 ライセンスまでとなっています。
[補助 / 設定 / フローティングオプション選択]
[ライセンス / ネットワークライセンスの使用方法]

